

# NEWS RELEASE

令和5年6月12日

株式会社 ちゅうぎんエナジー

## 株式会社アイ・グリッド・ソリューションズとの業務提携について

株式会社ちゅうぎんエナジー（岡山市北区丸の内一丁目15番20号 ちゅうぎん本店ビル9階 代表取締役 松岡 信一）は、株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ（東京都千代田区麹町3-7-4 代表取締役 秋田 智一）（以下「アイ・グリッド」という。）と業務提携いたしましたのでお知らせします。

### 1. 業務提携の趣旨

2050年のカーボンニュートラル達成へ向けて、アイ・グリッドと業務提携することで、太陽光PPA事業におけるオンサイトPPAを中心に地域のお客さまの脱炭素化への取組みをスピーディーかつ柔軟に対応してまいります。

### 2. 業務提携の内容

今回の提携では、アイ・グリッドのPPAノウハウとちゅうぎんグループの顧客ネットワークを連携させ、太陽光PPA事業を共同でおこないながら地域脱炭素の取組みを加速させていくことを目的としています。両社のシナジー効果によって再エネを創出し、それらを循環させることで、地域カーボンニュートラルを実現することを目指してまいります。こうした取組みを通じ、地域の連携で生み出す再エネを蓄電池・EVや施設間シェアで巡らせる「エネルギーの地産地消」を促進し、安心して暮らせるまちづくりの実現を目指します。

### 3. 株式会社アイ・グリッド・ソリューションズの概要

社名	株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ
本社所在地	東京都千代田区麹町3-7-4
代表者	代表取締役社長 秋田 智一
資本金	3,530百万円（2022年12月末時点）※資本剰余金含む
従業員	100名
設立	2004年2月
会社HP	<a href="https://www.igrid.co.jp/">https://www.igrid.co.jp/</a> オウンドメディア「グリラボ」： <a href="https://gurilabo.igrid.co.jp/">https://gurilabo.igrid.co.jp/</a>

- 子会社である株式会社VPP Japanを通じ、流通小売、物流等の企業向けを中心に、施設屋根上に初期費用なしで太陽光発電所の導入を可能とするPPA事業をいち早く手がけ、オンサイトPPAモデル国内実績首位※。

※富士経済 再生可能エネルギー発電システム・サービス市場／参入企業実態調査2022 第三者所有モデル（PPA、リース）・非住宅（10kW以上）・2021年度実績

- ▶ 独自開発のエネルギーマネジメントプラットフォーム「R.E.A.L. New Energy Platform®」を活用することで太陽光パネルの設置面積を最大化し、再エネ電力の自家消費比率を大幅に向上させる「余剰電力循環モデル」を構築するなど、テクノロジーを活用した独自のソリューションや技術／ノウハウを蓄積しており、様々な連携により脱炭素社会化を推進している。



#### 4. 業務提携締結日

令和5年6月12日



以 上

ちゅうぎんグループの顧客ネットワークとアイ・グリッドのPPAノウハウを連携させ、  
再エネの地産地消/地域循環を推進し、地域脱炭素化及び地域循環経済の実現に貢献する。

## 脱炭素ニーズ先の紹介

ちゅうぎんグループ

紹介



業務提携

営業・開発・AM業務

余剰電力



VPP JAPAN

オンサイトPPA供給



需要家

地域スーパー、ドラッグストア、物流  
工場、公共施設など



R.E.A.L.  
New Energy Platform®

## PPA事業①：PPA導入実績

2017年VPP Japan設立 国内初の産業向けオンサイトPPAを開始

**導入実績**  
**561施設 120,046kW(\*)**

iGRIDのエネルギーマネジメント顧客を中心に、全国のスーパーマーケット、物流施設、工場等サブライチェーン企業を中心に導入

(\*)2023年4月末現在

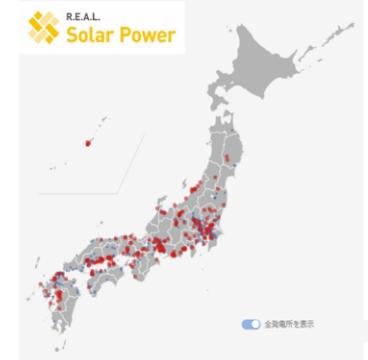
## PPA事業②：スピーディな開発による再エネ普及

オンサイトPPA 発電容量 (累計)

当社 稼働中の分散型発電所マップ

小型分散の特性を活かしスピーディに再エネを普及

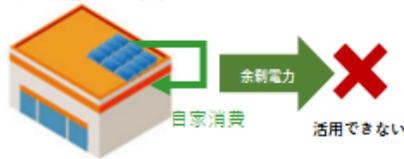
全国42都道府県、各地域で分散型開発を実施



## PPA事業③：屋根を余すことなく活用できる余剰循環モデル&効果

一般的なスキーム

施設で活用しきれない余剰電力をださないように、需要量医合わせ、本来の屋根ポテンシャルより小さいパネル設置しかできない



自家消費のみ検討時

設置容量 70kW  
 施設使用電力のごく一部  
 約3割しか再エネ調達ができない



当社のモデル



余剰循環モデル利用時

設置容量 400kW  
 屋根は施設使用電力の  
 約9割を再エネで調達



地域の他拠点へ“めぐらせる”

## GXインテグレーション事業：R.E.A.L. New Energy Platform®



再エネを循環させるために、太陽光発電、エネマネシステム、蓄電池、EVなど分散型エネルギー源をネットワーク化し、需要と供給を調整する分散・集約型次世代エネルギープラットフォームを開発

オープンイノベーションによる先端技術を活用した開発

AI予測

×

Cloud

×

IoT制御

